田んぼ 2030 プロジェクト 第3回ミニフォーラム

田んぼと生物・文化多様性

~世界農業遺産「大崎耕土」の 生物文化多様性を探る~



ラムネットJが展開する「田んぼの生物・文化多様性 2030 プロジェクト」では、2022 年度は 文化多様性を活動目的に取り込んでいる FAO (国連食糧農業機関) の世界農業遺産に注目して ミニフォーラムを開催しています。

3回目のミニフォーラムでは、2017年に「持続可能な水田農業を支える大崎耕土の伝統的水管 理システム」で世界農業遺産に認定された、宮城県大崎市の活動を取り上げます。

大崎耕土の伝統的水管理システムや、水田農業によって育まれる湿地生態系・農文化などにつ いておふたりの講師から話をうかがい、その後、参加者のみなさんと意見交換を行います。

日時: 2023 年 1 月 27 日(金) 18: 30~20: 10 オンライン開催 (Zoom ミーティング)

参加費:無料 要事前申し込み

主催:ラムサール・ネットワーク日本

【申し込み】

下記のオンラインフォームからお申し込みください。 https://forms.gle/J4S4Upa7LRnUet3w9

※このミニフォーラムは地球環境基金の助成を受けて実施しています。 ※「田んぼ 2030 プロジェクト」は以下の企業などからのサポートをい ただいています。

JA 全農・コープデリ事業連合・MS&AD インシュアランスグループ









【プログラム】

第1部 話題提供

「世界農業遺産「大崎耕土」の生物文化多様性を探る」 話題提供:

車田 敦 さん(宮城県大崎市教育委員会事務局文化財課課 長補佐)

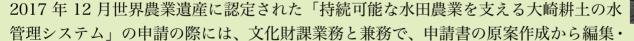
舩橋玲二 さん (NPO 法人田んぼ理事長)

第2部 参加者との意見交換

■車田 敦(くるまだ あつし)

仙台市生まれ。東北学院大学文学部史学科民俗学専攻卒業。専門は民俗学、考古学。 民俗学分野では東北民俗の会、考古学分野では宮城県考古学会員として研究活動をお こなっている。

2001 年文化財専門職として宮城県大崎市へ入庁。当市で携わった主な業務に、古代城柵官衙遺跡「新田柵跡」の学術調査、大規模ほ場整備事業に伴う発掘調査、木造千手観音座像の国指定へ向けた文化財調査、市指定無形民俗文化財調査などがある。



執筆に係り、日本農業遺産・世界農業遺産の各種審査・現地調査の際にプレゼンテーションを担当した。 GIAHS 認定後もアクションプラン推進事業に関わっている。

趣味はヴァイオリンなどの音楽活動および武術太極拳の普及活動、美味しいお酒を飲み、美味しいものを食べること。

■舩橋玲二(ふなはし れいじ)

ラムサール・ネットワーク日本理事・NPO 法人田んぼ理事長。宮城県大崎市に拠点を置く NPO 法人田んぼは、「大崎耕土」の世界農業遺産認定前〜現在の生きもの調査や、農産物の認証制度の検討等に関わってきました。地域の大切な資源である生物多様性を育みながら、産業としての農業を支えていく世界農業遺産の取組は、持続可能な社会を目指すうえでとても大切な視点と捉え、活動しています。





【問い合わせ】

NPO 法人 ラムサール・ネットワーク日本 東京都台東区台東 1-12-11 青木ビル 3F 〒110-0016

Eメール info@ramnet-j.org